

事業報告書

1 支援団体名	ななせ交流会								
2 事業名称	川といっしょに in のつはる「ダムのある里づくり」								
3 実施日時	令和2年4月～令和3年3月								
4 実施場所	七瀬川流域・廻栖野河川敷・ななせダム周辺								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)「ななせダム」の水源地域として自然環境の保全活動を重要課題として活動をする。毎月の定例会を開催し、当面の活動の確認をする。コロナ禍の中で会場が無く屋外で開催。また毎月第1日曜日、全員で河川清掃を実施。子供達に川の存在、自然環境の保全活動の大切さを認識もらう企画が実現出来なかった。初めての企画「ななせダムの四季を撮る」『第1回【秋】のななせダムフォトコンテスト』を開催した。ダム周辺に桜の植樹、花植に取り組む。</p> <p>ダムツアーのガイド、ダム湖周辺の巡視、ピオトープの整備など積極的に対応した。現在「第2回【春】のフォトコンテスト」を募集中。コロナ禍の中で子供達に楽しく集える「凧揚げ大会」を開催、検温、消毒を徹底して、手作りの凧をダム天空広場で揚げて遊んだ。</p> <p>(事業実施効果)毎月の定例会、河川清掃はコロナ禍の中でも続けて会員全員で取り組んだ。のぼりを立ててアピールしているが、いまいち一般の人の参加が得られない。地域の自治委員が同意してくれたので展開を期待したい。</p> <p>毎年の桜の植樹活動で、ぼつぼつだが花が咲きだして楽しみにしている。今年桜の苗木の間につつじと柴桜を植えて見栄えが良くなった。年ごとに桜が大きく咲きだすと多くの人が集まってくるとおもう。新しい企画のフォトコンテストは近郊にポスターを貼り、チラシを配布した。地方紙に掲載されたので広い範囲から応募があった。プロのアドバイスで会員全員で審査をして入選を決めた。入選作品は「道の駅」に展示した。多くの人が足を運んでくれ、野津原地域の活性に貢献できたと思う。現在募集中の【春】も沢山の応募が待たれる。</p>								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td> <td>118名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加 ((1)を除く)</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加 ((1)を除く)</td> <td>8名</td> </tr> </table>	総人数	118名	(1) 主催者参加	30名	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	80名	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	8名
総人数	118名								
(1) 主催者参加	30名								
(2) 日本人参加 ((1)を除く)	80名								
(3) 外国人参加 ((1)を除く)	8名								
7 今後の方針	<p>コロナ禍の中でなかなか活動が思うようにならないが定例会で知恵を絞っていきたい。河川清掃の継続、ダム事業については可能な限り対応していく。コロナ禍が収まったら次世代へ自然保全の認識を啓蒙するような取り組みをする。広報活動を強化する。</p>								

(令和2年12月6日)
公民館長立ち合いでフォトコンテストの審査



(令和2年12月15日)
「道の駅」展示会場で表彰式



(令和2年6月7日)
流域10ヶ所で採水



水質調査 どの色になるかな



(令和3年3月14日)
蕾が膨らんだ去年の桜、つつじと柴桜添えます



(令和3年3月14日)
3年前の桜 大きくなったが雑草もまた…

